

# 生活・総合領域

## 生活・総合領域とは

生活・総合領域では子どもたちが、気づくことのおもしろさを実感し、気づきを広げ深めていけるように指導できる教員。環境問題や防災が重大問題化し、国際化、情報化、二極化などが進展する今日の社会において、子どもたちがこれらの課題に対して積極的に、そして柔軟にかかわっていくことができるように指導できる教員。このような教員の養成をめざしています。

フィールドワークやインターンシップなどの活動を通して、地域と関わりながら子ども達のよりよい学びについて考えていきます。

## 生活・総合の授業

領域独自の授業としては、2年生向けの「総合教育基礎演習」、3年生向けの「総合教育演習」「総合教育実践研究」などがあります。「総合教育基礎演習」では、希少糖がとれる唯一の植物「ずいな」をはじめ、トマトや朝顔などの植物の栽培をおこなっています。また、豊島のエコツアーや公民館祭りの活動、三木町防災センターでの外国人向けの災害援助研修やアメリカからの短期留学生の研修などにも参加し、それぞれの現場で貴重な体験し、多くのことを学んでいます。

## 生活・総合の行事

高校生を対象としたオープンキャンパスや子どもたちを対象とした未来からの留学生など、学生が主体となり企画を準備し実施しています。

## 教員免許の取得

卒業要件としてかならず小学校教諭1種を取得します。また、幼稚園教諭1種、特別支援学校教諭1種、中学校教諭1種、高等学校教諭1種を取ることも可能です。

### 在校生の声

私たち生活総合領域は2015年に新設された研究室です。他の領域と異なり、フィールドワークやインターンシップがあります。自分自身で疑問を解決しながら、さまざまな観点について学べる領域です。

